カリキュラム区分	5カリ	シラバス区分	大学院

科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門分野	M225	1年	後期	看護学	選択	健康科学特論 Advanced Study on Health Sciences	30	2

担当教員					
鳥居　順子	入野　了士				

関連するDPキーワード（看護学専攻）	
	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。
○	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。
	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。
	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。
○	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。

関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）	
	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。
	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。
	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。
	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。
	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。

授業目的

ひとびと及び個人の健康を支えるために、保健行動学（健康行動、行動変容、理論と実践）や健康情報学（疫学、EBM・EBN、意思決定）の観点から基礎理論や概念について理解を深める。

到達目標（授業目標）

①保健行動学の基礎理論や概念を、具体例と関連付けて理解し、説明できる。
②健康情報学の基礎理論や概念を、具体例と関連付けて理解し、説明できる。

回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）
1回	健康科学とは（1）：健康とは、保健とは、リスク　（鳥居　順子）
2回	健康科学とは（2）：行動、情報リテラシー、個人情報の保護　（鳥居　順子）
3回	保健行動学（1）：健康行動の基礎的理解　（入野　了士）
4回	保健行動学（2）：個人レベルの健康行動理論・モデル　（入野　了士）

5回	保健行動学（３）：個人間における健康行動理論・モデル（その１）　（入野　了士）
6回	保健行動学（４）：個人間における健康行動理論・モデル（その２）　（入野　了士）
7回	保健行動学（５）：健康行動変容のコミュニティ・グループモデル　（入野　了士）
8回	健康情報学（1-1）：意思決定と医療行動経済学　（鳥居　順子）
9回	健康情報学（1-2）：患者と家族の意思決定（その１）　（鳥居　順子）
10回	健康情報学（1-3）：患者と家族の意思決定（その２）　（鳥居　順子）
11回	健康情報学（1-4）：医療者の意思決定　（鳥居　順子）
12回	健康情報学（2-1）：研究デザインとエビデンスレベル、利益相反　（鳥居　順子）
13回	健康情報学（2-2）：バイアスと交絡、因果関係　（鳥居　順子）
14回	健康情報学（2-3）：情報の解釈、分母と分子、相対リスクと絶対リスク　（鳥居　順子）
15回	まとめ：学習成果の発表　（鳥居　順子、入野　了士）
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	

成績評価方法及び基準

各テーマのプレゼンテーション及び討論内容（65%）と学習成果発表（35%）で評価する。トータルで60点以上を合格とする。

教科書	指定しない
参考図書等	Karen Glanz他編 木原雅子他訳「健康行動学:その理論、研究、実践の最新動向」（メディカル・サイエンス・インターナショナ

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

14回までは各回ミニプレゼンテーションを課す。最終回は学習成果発表のプレゼンテーションを準備する。

関連科目

前科目	M223	地域看護学特論Ⅰ	M224	地域看護学特論Ⅱ						
後科目	M226	地域看護学・健康科								

実務家教員

備考	